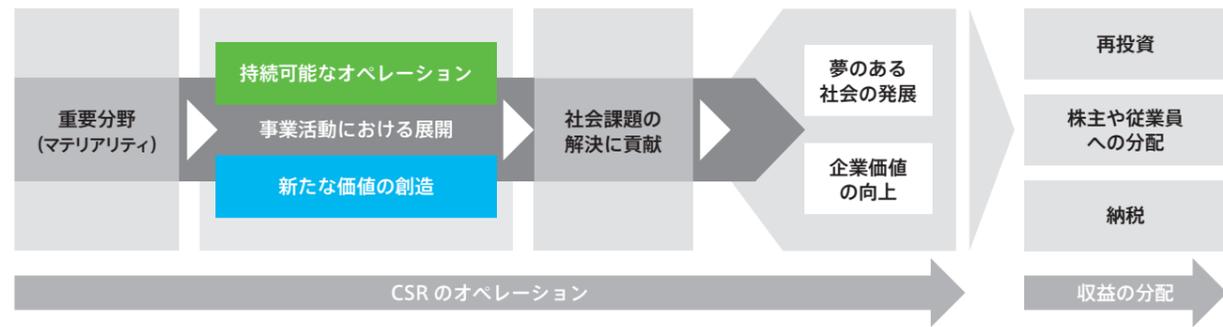


東京エレクトロンのCSR

CSR方針

東京エレクトロン (TEL) の基本理念を体現する取り組みが TEL の CSR です。TEL では、企業統治や法令遵守、倫理などの観点から持続可能なオペレーションを追求するとともに、製品やサービスの提供による新たな価値の創造により、社会課題の解決に貢献すべく CSR 活動を展開しています。これからも CSR 活動を通してステークホルダーの皆さまとの信頼関係の構築に努め、企業価値を向上させることで、持続可能な夢のある社会の発展に貢献したいと考えています。



CSR推進体制

TEL では、中長期的な視点から経営戦略との統合を図り、サステナビリティマネジメントを展開しています。CSR に関する全社方針は、経営層が参加する CSR 定例会議で決定されます。その方針のもと、CSR グローバル推進会議において CSR 目標を設定し全社レベルの取り組みを展開しています。それらの進捗や日々の CSR 活動については、CSR 月次連絡会において共有し、全社横断的な連携体制を構築しています。

会議名称	参加メンバー	会議内容	開催頻度
CSR 定例会議	<ul style="list-style-type: none"> 代表取締役会長 代表取締役社長・CEO 取締役および本部長 	<ul style="list-style-type: none"> 全社 CSR 方針の決定 重要案件についての話し合い 	年2回
CSR グローバル推進会議	<ul style="list-style-type: none"> CSR 担当取締役 関連部門長 関連会社・海外現地法人 CSR 責任者 	<ul style="list-style-type: none"> CSR 目標の設定 グローバルプロジェクトの推進 	年2回
CSR 月次連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 各部 CSR 担当者 	<ul style="list-style-type: none"> CSR 活動内容の共有 横断的テーマの取り組み 	月1回

イニシアティブへの参画

国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクト (UNGC) は、企業を中心としたさまざまな団体が社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的なイニシアティブです。参加団体には、人権・労働・環境・腐敗防止の4分野において、責任ある創造的なリーダーシップを発揮することが求められます。TEL は 2013 年に賛同を表明し、UNGC が掲げる 10 原則を支持しています。



Responsible Business Alliance (RBA)

RBA は、エレクトロニクス業界を中心としたサプライチェーンにおける CSR の推進団体で、労働・環境・安全衛生・倫理の分野における共通の行動規範を定めています。TEL は 2015 年に RBA に加盟し、サプライチェーンにおけるサステナビリティの推進に努めています。



ステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダーの皆さまとの継続的な対話や連携は、TEL が事業を通じて新たな価値を提供し、信頼関係を構築していく上で重要です。TEL は、透明性の高い情報をタイムリーに開示するとともに、ステークホルダーの皆さまのご意見やご要望を事業活動に反映し、企業価値の向上に努めてまいります。

ステークホルダー	コミュニケーション機会	主なご意見やご要望	該当するマテリアリティ
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> 決算説明会 ESG 調査 個別インタビュー 	<ul style="list-style-type: none"> 中長期的な企業価値向上に向けての施策 企業統治への取り組み 環境負荷低減に関する中長期的な考え方 	<ul style="list-style-type: none"> 製品競争力 生産性向上 経営基盤
お客さま	<ul style="list-style-type: none"> 技術交流会 顧客満足度調査 個別の技術協業 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客ニーズの的確な把握 付加価値の高いソリューションの提案 早期段階からのエンゲージメント強化 	<ul style="list-style-type: none"> 製品競争力 顧客対応力 生産性向上
お取引先さま	<ul style="list-style-type: none"> 生産動向説明会 パートナーズデイ STQA* 監査 	<ul style="list-style-type: none"> 協業体制のさらなる推進 コミュニケーション機会の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上 経営基盤
社員	<ul style="list-style-type: none"> 社員集会 グローバル・エンゲージメント・サーベイ 自己申告制度 	<ul style="list-style-type: none"> やりがいや働きがいにつながる仕組みづくり 中長期的なキャリアプランの支援 生産性向上への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 人と職場 経営基盤
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会貢献活動 事業所見学会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化 雇用機会の創出 環境に配慮したオペレーション 	<ul style="list-style-type: none"> 人と職場 経営基盤
行政機関・各種団体	<ul style="list-style-type: none"> 業界団体活動 各種イニシアティブとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 社会課題解決に結びつくイノベーションの創出 人権尊重に向けた取り組み 責任ある調達 	<ul style="list-style-type: none"> 製品競争力 人と職場 経営基盤

* STQA: Supplier Total Quality Assessment の略

外部からの評価

TEL の CSR の展開は、中長期的な企業価値向上の取り組みとして評価を受け、世界の代表的な CSR・ESG 投資における株価指数の構成銘柄に選定されています。

2017 年度は、「DJSI*」Asia Pacific 2017」の構成銘柄や「FTSE4Good*2」「MSCI World ESG Leaders Index」の指数にも、前年度に引き続き選定されました。また GPIF*3 が選定した ESG 指数「FTSE Blossom Japan Index」「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」に選定されました。



* 1 DJSI: Dow Jones Sustainability Index の略。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社 (米国) と RobecoSAM 社 (スイス) が開発した ESG 投資インデックス。Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index はアジア太平洋地域が対象

* 2 FTSE4Good: FTSE 社 (英国) が開発した、環境や企業の社会的責任に関するインデックス

* 3 GPIF: Government Pension Investment Fund の略。日本の年金積立金管理運用独立行政法人で、世界最大規模の公的年金積立金の運用をおこなっている

社内における取り組みー CSR 推進賞

社内における CSR の取り組みを推進するために、産業や社会の課題解決に寄与する展開事例を「仕事の中の CSR」として世界中の社員に募りました。SDGs との結びつきや、社会課題の解決、企業価値向上などの観点から選考をおこない、CSR 推進賞 1 件、CSR 優秀賞 4 件を表彰しました。

